

GRADO

From New York

Statement series

ステートメント・シリーズ

モデル

Statement Platinum	US\$300
Statement Signature	US\$500
Statement Master	US\$800
The Statement Reference	US\$1200



厳選された天然木マホガニーに包まれた「リファレンス・シリーズ」は、長年に渡って開発、生産続けられていたFB方式のネクストステップでした。その「リファレンス・シリーズ」各モデルをローインピーダンス化した「ステートメント・シリーズ」が加わりました。

グラドはステレオMC型フォノカートリッジの発明者（彼の特許はオルトフォン、デンオンをはじめほとんどのステレオMC型に及ぶ基本的なもの・ひとつのアーマチュアにL/R両チャンネルのコイルが巻かれている。）でありながら、実効質量の増大による過渡特性の劣化とコイルが及ぼす動作支点への影響、そして磁気回路内で発生する逆起電力によるダンピングの低下により、20年間に渡るステレオMC型フォノカートリッジの開発を止めてしまったのです。1974年のことです。それらの弱点を克服するために発明されたのがFB型でした。このじっくりと育ててきたFB型も、もうすでに四半世紀が過ぎようとしています。

徹底した無共振化とローインピーダンス化

MC型の弱点を克服したFB型はその構造の副産物として、針交換も実現していました。しかし、この「ステートメント・シリーズ」はその接合部を敢えて接着することで、無共振化を徹底させ、より精密な音溝のピックアップに挑戦しています。さらに発電機構部を内部損失の優れたABS樹脂シャーシにエポキシ充填接着し、それを手作業にて丹念に削り出されたマホガニー・ボディへマウントする手の込んだ三重構造が不快な共振音の発生を抑えるという徹底ぶりです。もちろん、このボディ形状は度重なる試聴と経験に基づいて決定されました。

MM型をはるかに凌ぎ、MC型をも越えるトップクラスの発電効率を誇るFB型のサウンドは、ピーキングのない素直な高域と重心が低くエネルギーな低域に支えられた厚みのある中域、そして高さや幅、奥行き方向への明確でスムーズな音像の移動と広大なサウンドステージが特徴です。

「ステートメント・シリーズ」は一層のワイドレンジ化を図るため、コイルの巻き数を1500から95ターンに減らし、コイルの太さを16倍としました。その結果、出力インピーダンスは475オームから2オームまで減少させています。（FB型はコイルを16倍もに極太化しても振動系質量が一切増加しません。）

もし、オーディオシステムが低出力のピックアップを使用可能ならば、「ステートメント・シリーズ」は一聴に値することでしょう。

共通仕様

出力：0.5mV / 適合負荷：47k / インダクタンス：2mH / 出力抵抗：2 / 周波数特性：10~60,000Hz / 重さ：7g / 適合針圧：1.5g
ご使用に際しては、水平、垂直方向のコンプライアンスが等しいミディアム・マスのトーンアームを推奨します。

針交換価格（本体交換）：Platinum US\$200、Signature US\$330、Master US\$530、The Reference US\$800

2002, January 20, Sunday